

祝 感激を胸に「大人」として踏み出す新たな一歩

～平成 28 年南九州市成人式～

1月3日、知覧文化会館で成人式が開催され、新成人 331 人(男性 168 人、女性 163 人) が出席しました。

オープニングセレモニーでは、歌手としての活躍を誓う雪丸結衣さんが、インターネット配信デビュー曲「Popping Sneaker」など3曲を披露し会場を盛り上げました。第1部式典では、式辞や祝辞が贈られたのち、新成人を代表して藺田絵美さんと上村広志さんから、成人としての決意や感謝の気持ちが述べられました。続く成人式実行委員会主催の第2部では、中学生時代の写真や恩師からのメッセージが上映され、会場のあちこちから喜びの声が上がりました。多くの方々から祝福され、新たな門出を迎えた皆さんの今後の活躍が期待されます。



▲新成人の皆さんから贈られた「ベビーベッド」が、1月6日、諸菱文哉さん(右)と丸山正悟さん(左)に立会いのもと知覧庁舎1階ロビーに設置されました。新成人の皆さんありがとうございました。



▲成人式実行委員長 鶴園将太さん。 ▲式の企画・運営に携わった成人式実行委員の皆さん。

▲オープニングで熱唱する雪丸結衣さん。

▲新成人を代表してスピーチする藺田絵美さんと上村広志さん。

～ 出身中学校別の記念写真 ～



青戸中学校



別府中学校



颯娃中学校



知覧中学校



川辺中学校

餅つきで深める地域との交流 ～社会福祉法人更生会～

12月28日、更生会の餅つきが行われ、もち米の寄附をしてくれた別府小学校5年生が招待されました。子どもたちは重いきねに負けずにべったんと餅をつき、出来たてのあんこ餅をおいしく食べました。更生会榎山学園長の中村建司さんは「餅つきを通して福祉事業を知ってもらいたい。今後も地域貢献を続け交流を深めたい」と話しました。



▲施設利用者のために、たくさんの餅がつかれました。支援活動を行う「穎娃ロータリークラブ」からも、毎年もち米の寄附をいただいています。

▼午前についたしめ縄。金峰町から来られた講師に教わりながら、わらを足で押さえたり手や指を器用に動かしたりと全身を使って作りました。



わらで正月飾り作り ～神殿校区公民館講座～

12月23日、今年で5年目となるわらで正月飾りを作る公民館講座が神殿校区公民館で開催されました。午前は大人がしめ縄を、午後には地域の方と子どもたちが鶴飾りを作りました。参加者は初めての方もいて慣れない作業に苦戦しましたが、「来年も良い年になるように」と願いを込めながら作り、最後は皆さん「楽しかった」と出来上がりを見て嬉しそうでした。

▼10月1日に発足した女性消防団員12人が、出初式での分列行進を初めて行いました。



火災・災害ゼロを願って ～南九州市消防出初式～

1月10日、穎娃運動公園で消防出初式が行われました。式では本門芳太郎団長を先頭に消防団員、消防署員と昨年10月に発足した女性消防団員ら450人が分列行進や放水演習などを披露、続いて穎娃文化会館で消防団員などへの表彰式が開催され、長年の消防活動での輝かしい功績を称え団員やその家族に表彰状が贈られました。

観光まごころおもてなし表彰を受賞 ～茶寿会～

茶寿会（瀬川晋哉会長）が、第12回観光まごころ県民運動会長表彰で観光まごころおもてなし表彰を受賞しました。この賞は、鹿児島を訪れる観光客が再び訪れたいと思うようなまごころのこもったおもてなしなどで功績のあった個人や団体に贈られるもので、茶寿会の大野岳でのおもてなしや清掃活動などが高く評価され今回の受賞となりました。



▲瀬川会長（前左列2人目）は、「受賞は地域の皆さんや行政の協力があってこそ。今後も精一杯のおもてなしで地域を盛り上げていきたい」と話しました。

人と川との共生を考える ～万之瀬川振興会～

万之瀬川振興会(小藺義文会長)は、水産多面的機能発揮対策事業として、平成25年度から河川清掃や資源の増殖、環境保全の啓発活動などを行っています。今年度は改めて川の大切さを学び、さらに故郷



▲児童らは、うなぎの生態や万之瀬川にすむ魚の話に興味深げに聞き、昔の漁具などを不思議そうな顔で見学しました。

を思う気持ちを育てるために、清水小学校、勝目小学校、川辺小学校で、「人と川との共生を考える学習会」を開きました。

百歳おめでとうございます ～植村美修さん(知覧町塩屋)～

12月27日、植村美修さんが100歳の誕生日を迎えられました。翌日、塗木市長が自宅を訪問し、植村さんの永年の苦労を労いながら花束と祝金を贈り、ご家族の方と長寿をお祝いしました。長生きの秘訣を聞くと



▲ご家族に囲まれて、嬉しそうな植村美修さん。

「何でもよく食べる」と答えてくれました。これからもお体を大切に、健やかに過ごされますようお祈りします。

もぞかペットはイノシシ ～川辺町高田の中礼隆一さん～

“はなこ”と名付けられたイノシシは、「はな」と呼ばれると飼い主の中礼さんの足元に駆け寄ってきます。おとし10月に老友会の遠足で大浦へ行つたとき、飼われていたうり坊を譲ってもらったそうです。中礼さんは毎



▲冬仕様の真っ黒い毛並に変わったはなこ。中礼さんが「ねんね」とおなかをなでると、とても気持ち良さそうに横になるそうです。

日一緒に散歩をすることが楽しみで「はなは私に歩調を合わせてくれる、それがもぞか」と笑顔で話しました。

『人権の花』運動 閉会式 ～川辺小学校～

12月7日、「人権の花」運動の閉会式が川辺小学校で行われました。学校では学級園などにひまわりの種を蒔き、みんなで協力し12月まで大きな花を咲かせました。宮内健義人権擁護委員から、児童を代表して五反



▲三浦校長先生は、「この取り組みを通して、優しい心・思いやりの心を育て相手の立場になって考え行動することができました」と話しました。

田華子さんに感謝状が贈られた後、室屋叶さんが「これからも思いやりの心で友だちを大切にします」とお礼の言葉を述べました。

特攻隊員の思い語り継ぎ27年

知覧特攻平和会館語り部引退

松元淳郎さん

知覧特攻平和会館を訪れた方に特攻の歴史や隊員の残した手紙、遺書にまつわることなどについて講話してきた松元淳郎さん(87歳)が、平成27年12月末をもって同館を退職することになり、27年間ほぼ毎日語り続けてきた語り部を引退されました。

松元さんは知覧町役場を退職後、知覧特攻平和会館の語り部として務めてこられ、6人いる語り部の中で最年長でした。在任中は全国各地の生き残った特攻隊員の方々から直接体験談を聞くなどし、実際にあった真実の声にご自身の戦争体験も交え、来館者に戦争は二度とやってはいけな

いと訴え続けてきました。このたびの引退にあたり松元さんは、「家族や恋人、国を守るため、命を懸けた若者がいたことを覚えていてほしい」と述べられました。



▲開館当初から、松元淳郎さんの講話は、昨年9月に返却した旧陸軍戦闘機「飛燕」の前で行われていました。



▶12月22日、組合員である霜出市長から感謝状が贈られました。